

## 平成16年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	サービス課	内線等	94-1192
事業コード		事務事業名	警備取締事業	
根拠法令等	モーターボート競走法		A法令	

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

### ②事務事業の内容

対象（受益者）	場内への入場者に対して
手 段	競走場での安全・秩序を維持することによって
想定する成果	競走の公平かつ安全性を確保する。

### ③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
入場者（人）	1,304,161	1,145,970	1,145,970
収容人員（人）	35,132	35,132	35,132
開催日数（日）	228	192	186
臨時警備員数（人）	20,982	20,446	14,142

### ④成果指標

成果指標名	①	②
	1日当りの場内収容率	1日当りの臨時警備員数
成果指標の説明	入場者/（収容人員×開催日数）×100	臨時警備員/開催日数

### ⑤事業の進捗状況（モーターボート特別会計）（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	16.9%
	実績	16.3%	16.9%	-
成果指標 ②	計画	-	-	76.0人
	実績	92.0人	106.4人	-
事業費	事業費	119,534	82,216	72,948
	人件費	9,740	9,643	9,936
	(人数)	1.2	1.2	1.2
	合計	129,274	91,859	82,884
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	129,274	91,859	82,884

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	夜間にもかかわらず、「安全・安心」が確保できた。
経済効率性	2	2	昼間開催に比すると警備員増加する必要がある。
事務効率性	2	2	嘱託職員・従事員・ガードマンとの関係が要求される。
必要性	3	3	フアンの安全確保のためには、必要不可欠。
小計	9 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	0	0	
合計	9 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	大事もなく、「安心・安全」な娯楽施設として定着。ただし、公営競技の本質は賭け事であることを念頭に入れたい。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

平成11年度からナイター開催当初、不安も懸念されたが、警備の大事もなく「安心・安全」な娯楽施設として推移。場内のガードマン配置場所等の見直しを実施した。
--

⑧今後改善すべき点

警備人員の配置・場所等非常時を含めた時、人員の配置。
----------------------------

⑨平成18年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

## 平成16年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	サービス課	内線等	94-1192
事業コード		事務事業名	駐車場誘導・周辺警備事業	
根拠法令等	モーターボート競走法		A法令	

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

### ②事務事業の内容

対象（受益者）	競走場への来場者に対して
手 段	競走場周辺での安全・秩序を維持することによって
想定する成果	競走の公平かつ安全性を確保する。

### ③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
年間駐車数（台）	457,716	468,319	453,000
収容台数（台）	4,085	4,085	4,151
開催日数（日）	228	192	186

### ④成果指標

成果指標名	①	②
	1日当りの駐車収容率	1日当りの駐車数
成果指標の説明	$\text{駐車数} / (\text{収容台数} \times \text{開催日数}) \times 100$	$\text{駐車数} / \text{開催日数}$

### ⑤事業の進捗状況

（モーターボート特別会計）

（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	58.6%
	実績	49.1%	59.7%	-
成果指標 ②	計画	-	-	2,435台
	実績	2,008台	2,439台	-
事業費	事業費	119,534	82,216	72,948
	人件費	9,740	9,643	7,452
	（人数）	1.2	1.2	0.9
	合計	129,274	91,859	80,400
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	129,274	91,859	80,400

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	夜間にもかかわらず、「安全・安心」が確保できた。
経済効率性	2	1	昼間開催に比すると警備員増加する必要がある。
事務効率性	2	1	嘱託職員・従事員・ガードマンとの関係が要求される。
必要性	3	3	駐車場及びJR三河塩津駅への安全確保ためには、必要不可欠である。
小計	9 /12 満点中	7 /12 満点中	
市民参加度	0	2	
合計	9 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	C	駐車場・駅周辺の「安全」が保たれた、この先も「安全」を確保し付近住民の不安を取り除き、安心して非開催日同様の暮しができる警備体制を目指す。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

平成11年度からナイター開催当初、不安も懸念されたが、警備の大事もなく「安心・安全」な娯楽施設として推移。この間、配置人員の増減及び駅周辺のガードマン配置場所等の見直しを実施してきた。

⑧今後改善すべき点

⑨平成18年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

## 平成16年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	サービス課	内線等	94-1192
事業コード		事務事業名	競艇場内外清掃事業	
根拠法令等	モーターボート競走法		A法令	

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

### ②事務事業の内容

対象（受益者）	場内への入場者に対して
手 段	競走場内外での清掃を実施することによって
想定する成果	競走場の清潔の保持を確保する。

### ③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
年間ごみの量 (kg)	251,070	234,110	226,000
開催日数 (日)	228	192	186
清掃員数 (人)	8,322	-	-

### ④成果指標

成果指標名	①	②
	1日当りごみの排出量	1日当り清掃員数
成果指標の説明	ごみ量/開催日数	清掃員数/開催日数

### ⑤事業の進捗状況 (モーターボート特別会計) (千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	-		1,215 k g
	実績	1,101 k g	1,219 k g	-
成果指標 ②	計画	-	-	-
	実績	36.5人	-	-
事業費	事業費	148,160	99,928	97,434
	人件費	6,493	6,429	3,312
	(人数)	0.8	0.8	0.4
	合計	154,653	106,357	100,746
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	154,653	106,357	100,746

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	施設全体の清潔保持。
経済効率性	2	2	清掃業者による委託で実施している。
事務効率性	2	2	清掃業者による委託で実施している。
必要性	2	3	場内外の美化のため必要不可欠である。
小計	8 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	0	0	
合計	8 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	場内外全体の清潔保持に努めている。
------	---	---	-------------------

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

平成16年度から、臨時従事員に代わり業者委託とした。清潔保持については、日々指導している。

⑧今後改善すべき点

競艇場全体でごみの減量化。売店商品の包装の簡易化を検討していきたい。

⑨平成18年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

## 平成16年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	サービス課	内線等	94-1192
事業コード		事務事業名	救護・苦情等処理事業	
根拠法令等	モーターボート競走法		A法令	

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

### ②事務事業の内容

対象（受益者）	場内への入場者に対して
手 段	競走場内での安全・秩序を維持することによって
想定する成果	競走の公平かつ安全性を確保する。

### ③事業の概要

項 目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
事案（救護・苦情等）件数	334件	329件	320件
年間開催日数	228日	192日	186日

### ④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標の説明	年間場内事案件数/年間開催日数	-

### ⑤事業の進捗状況（モーターボート特別会計）（千円）

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	1.7件
	実績	1.5件	1.7件	-
成果指標 ②	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	113,251	81,918	72,648
	人件費	6,493	6,429	1,656
	(人数)	0.8	0.8	0.2
	合計	119,744	88,347	74,304
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	119,744	88,347	74,304

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	大きなトラブルもなく事案を処理。
経済効率性	2	1	囑託職員で対応している。
事務効率性	2	1	競走に関する事案については効率性は低い。
必要性	2	3	苦情等の処理、窓口を設け問題解決を図る。
小計	8 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	0	1	
合計	8 / 15 満点中	8 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	日々事案は多種多様である、このような事案を処理する窓口を設けることは不可欠である。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

場内での苦情処理について、軽微な事案は各々の現場にて対応することとした。

⑧今後改善すべき点

事案として、病気持ち年寄りのファンが最近目立ち、同伴者との入場を要する。競走に関するファンの申し出では、専門の実務をしている競走会の職員の配置による事の迅速な処理が必要。

⑨平成18年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

## 平成16年度事務事業評価表

担当	競艇事業部	サービス課	内線等	94-1197
事業コード		事務事業名	入場門等運営事業	
根拠法令等	蒲郡市営モーターボート競走条例等		A法令	B条例
			C規則	Dその他
				Eなし

### ①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
にぎわいと活力あふれるまちづくり	競艇

### ②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡競艇場へ来場するファンに対し
手段	3箇所あるコインゲート等で入場料等を徴収し、一般席・グリーン席・指定席等に安全、円滑、適切に入席案内する。出走表の配布、総合案内、ドリンク・ティッシュの提供配布、手荷物用ロッカー・雨天時に傘たての利用案内及びカサ貸し出し等を実施することによって
想定する成果	より快適な環境を作り来場の促進、売上げの向上を図る。

### ③事業の概要

(円)

項目	平成15年度実績	平成16年度実績	平成17年度計画
開催日数	186日	192日	186日
有料入場者数	848,048人	751,961人	700,000人
内指定席	61,060	53,938	55,000
内グリーン	174,310	160,193	145,000
臨時従事員数	37人	38人	33人

### ④成果指標

①

②

成果指標名	開催日1日当たり入場者数	入場者一人当たりの費用額
成果指標の説明	有料入場者数/年間開催日数	総事業費/有料入場者数

### ⑤事業の進捗状況

(モーターボート競走事業特別会計)

(千円)

		平成15年度決算	平成16年度決算	平成17年度予算
成果指標①	計画	—	—	3,763人
	実績	4,559人	3,916人	—
成果指標②	計画	—	—	193円
	実績	181円	174円	—
事業費	事業費	146,651	146,419	130,922
	人件費	6,494	3,214	4,140
	(人数)	0.8	0.4	0.5
	合計	153,145	149,633	135,062
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	153,145	149,633	135,062

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	従来から継続した業務であり特段のトラブルは無くファンに定着している。
経済効率性	2	1	お客様を迎え入れて、必要最少の種々のサービスを提供する必要経費と考えている。無料優待をどの程度実施するのがよいか検討の余地がある。入場者数の増減によって固定経費はさほど影響しないと考えているので、いかに集客できるかが重要ポイントとなる。
事務効率性	2	2	他場の先進地を視察し実情を把握することで、問題点を洗い出し事務の参考に資すべきである。
必要性	3	3	入場者に関し、入場門運営管理等の必要性は十分認められる。
小計	9 /12 満点中	/12 満点中	
市民参加度	1	1	来場者のうち市民の占める割合は不明である。
合計	10 /15 満点中	/15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	C	入場門業務は必要であり、この業務を臨時従事員に命じられているが、最少必要人数を絞込みして委託化を図るべきである。しかしながら労務上の難しい問題をクリアしなければ達成できません。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

- 1 業務運営を円滑効率化するため所属部所間の協力応援を臨機に対応できる体制を敷いた。
- 2 入場者を迎えるに「挨拶運動」「出走表の手渡し配布」を定着化した。

⑧今後改善すべき点

- 1、H17年度に指定席の現「入場システム」を廃止し、新規導入し業務の省略化を図るとともに、入場者にわかりやすい席表示及び電算化によるスムーズな券購入及び再入場方法に改善します。
- 2、入場者数からみて3ゲートの必要性は薄く、2ゲートで十分対応ができると考えられる。（業務員の削減による経費節減が可能）現下の売上げ（収益）のなかで競艇事業を継続運営するにはこの様な改革をしなければならぬことを提言する。具体案は、東ゲートを廃止することで2,000万円の人件費等の削減が可能である。

⑨平成18年度予算に反映する項目

運営するための必要固定費（主に従事員費（別途予算））の縮減のため従事員の減員に努め（他部署担当）経費節減のための委託を検討するとともに予算要求をする。従来と同様のファンサービスを維持できる予算としたい。

⑩組織、人員に関する提言

この事業に直接携わる職員は0.4人と現場従事員33人体制で運営しているが一層の業務効率を上げ、競艇事業の経営に寄与すべく努力したい。

※各部長は、部長評価欄採点部分だけを記載